

時間割コード	G1D11104	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ (A)(中級)				担当教員	清澤 美恵	
英文授業名	Academic English Phase (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	S (4)
講義室	共通教育 2 4 講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・ Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・ Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス（座席決定 自己紹介 授業の進め方について） 第2回 Unit 1: A Paragraph as a Product 第3回 Unit 2: Writing a Topic Sentence 第4回 Unit 2 第5回 Unit 3: Writing Supporting Sentences 第6回 Unit 3 第7回 Unit 4: Writing a Concluding Sentence 第8回 中間試験 Unit 4 第9回 The Process of Paragraph Writing 第10回 The Process of Paragraph Writing 第11回 Unit 5: Describing Your Favorite Place 第12回 Unit 11: Narrating Past Events 第13回 Unit 11 第14回 Unit 7: Expressing an Opinion 第15回 Unit 7 授業アンケート 第16回 期末試験 まとめ						
(7)成績評価の方法	・ 授業の習熟度を測る課題（提出課題と中間試験）(60%) ・ 期末試験 (40%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 授業で扱う予定のUnitを予習して授業に臨んでください。課題は必ず提出してください。						
(10)履修上の注意	・ 自分なりの目標を持って授業に臨んでください。毎回しっかり予習をし、授業に出席して疑問点を解消し、復習をしてください。授業の内容に関連したことを調べて発表するなど、積極的に授業に参加してください。課題は必ず提出してください。 ・ 授業は座席指定とし、出欠は座席表を見て確認します。遅刻した場合欠席扱いになっていることがあるので、必ず授業後に遅刻したことを申し出てください。出席確認システムでも必ず出席登録をしてください。 ・ 授業開始後30分を超えた遅刻は欠席とします。 ・ 履修希望者は必ず初回授業に出席してください。初回授業に欠席した場合、必ず2回目授業までにメールで連絡してください。 ・ 再履修希望者は初回授業までにメールで問い合わせてください。						
(11)質問,相談への対応	メールで受け付けます。アドレス：kiyosawa@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。						

(12)授業への出席	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	静哲人, Writing Accelerator 『パラグラフ構成要素から学べるライティング入門』, ISBN978-4-88198-790-2, 松柏社, 2100円（税別） *教科書は必ず生協で購入してください。
【参考書】	指定しない